

2023年3月7日

各位

会社名 株式会社ジェイテックコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 津村尚史
(コード番号：3446 東証プライム)
問合せ先 取締役管理部長 日谷哲也
(TEL. 072-655-2785)

プライベートセミナー「半導体材料表面先端加工技術の紹介」の 開催に関するお知らせ

当社は、3月31日（金）に「半導体材料表面先端加工技術の紹介」という題目でプライベートセミナーを開催することが決まりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. プライベートセミナー開催の目的

本セミナーは、弊社が実用化を推進中の各種半導体材料表面先端加工技術であります「触媒基準エッチング法（以下、CARE）」、「プラズマ援用研磨法（以下、PAP）」、「プラズマ化学気相加工法（以下、Plasma CVM）」と、現在次世代加工技術として導入検討中の「新しい電気化学加工法」の4つの先端加工技術について、ユーザー様の理解を深めることを目的に開催します。そこでは、各加工法の研究開発の中心的存在である先生方を講師としてお招きし、半導体デバイスメーカー様、ウエハのサプライヤーメーカー様、半導体製造装置メーカー様、その他先端機能材料を取り扱うメーカー様などのユーザー様向けに講演します。

また、CARE、PAP、Plasma CVMについては、既に納品、受注の実績があり、現在さまざまな分野からの引合いもありますが、世の中に無い独自の加工技術であるため、本セミナーなどを通してより幅広く認知してもらう活動を今後も積極的に展開してまいります。

なお、2022年5月30日のプレスリリースにてお知らせしました長期成長戦略であります「Innovation 2030」の達成に向けて取り組んでおり、本セミナーはその取り組み内容のひとつと位置付けており、今後も積極的に継続して進めてまいります。

当社は、「オンリーワンの技術により製品を作り出し、広く社会に貢献し、持続的に成長するグローバル企業」となるため全社一丸となって取り組んでまいります。

2. プライベートセミナーの内容

弊社ホームページ<<https://www.j-tec.co.jp/category/news/>>にてご確認ください。

3. 各加工技術の概要

各加工技術の概要は下表のとおりです。

表：CARE, PAP, Plasma CVM の概要

加工技術	加工原理	加工対象物	製品例
CARE	触媒作用を活用した原子単位の加工法	SiC, Ge ₂ O ₃ , GaN, AlGa ₂ N, Al ₂ O ₃ , SiO ₂ , Si, ニオブ酸リチウム(LN), タンタル酸リチウム(TN)	パワー半導体 ^{※1} SAW フィルター ^{※2}
PAP	研磨面に対してプラズマによって活性化した酸素等を備える研磨法	単結晶ダイヤモンド, SiC, GaN	ダイヤモンド基板 ^{※3} パワー半導体 ^{※1}
Plasma CVM	反応性ガスのプラズマによる化学的反応による加工法	SiO ₂ , Si, SiC	SOI ウェハ ^{※4} パワー半導体 ^{※1} 水晶ウェハ ^{※5}

※1 パワー半導体とは、高効率な電力変換システムの構築に不可欠な素子です。例えば、太陽光発電や風力発電から得られた直流電力を交流電力に変換する際に、パワートランジスタを使用したインバーターが使用されます。また、自動車や鉄道などの交通機関においても、パワー半導体を使用した制御システムが採用されています。

※2 SAW フィルターとは、電子回路内の不要な信号を取り除くことができるため、様々な電子機器で広く使用されています。また、SAW フィルターは、小型化や省電力化が可能のため、モバイル機器やIoT 機器などの分野でも需要が高まっています。スマートフォン、GPS 受信機、デジタルテレビ受信機に使用されています。

※3 ダイヤモンド基板とは、人工的に合成されたダイヤモンドを基材とした電子部品の基板であり、高い物理特性を持つことから、情報端末の計算処理や通信速度のさらなる高速化や、大電流の電力制御を必要とする電車や自動車など幅広い分野での利用が期待されています。

※4 SOI ウェハとは、シリコンオンインシュレーター (Silicon On Insulator) ウェハの略称であり、シリコン層とシリコン酸化物層 (絶縁層) という二つの層があるウェハです。SOI ウェハは、低消費電力化、高集積度、高速動作などの要件を満たすために開発された革新的な半導体ウェハであり、最近では、モバイル機器、IoT 機器、自動車、医療機器などの分野での利用が進んでいます。

※5 水晶ウェハとは、石英 (SiO₂) を主成分とする透明な結晶で作られたウェハであり、高い電気特性を持っています。主に電気機器、光通信、センサー、時計などの分野で使用されます。

以 上